

第9回名勝洗足池公園保存活用連絡協議会 議事要旨

令和7年7月11日（金）10：00～11：30
洗足風致協会会館2階会議室

<当日資料>

- ①次第
- ②名勝洗足池公園保存活用連絡協議会設置要綱
- ③名勝洗足池公園保存活用連絡協議会名簿
- ④第8回協議会議事概要
- ⑤第8回協議会での指摘事項と対応方針
- ⑥資料-1 水環境改善対策実施計画について
- ⑦資料-2 擁壁工事について
- ⑧資料-3 文化財活用事業について
- ⑨資料-4 景観構成重要木の伐採報告

発言者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
-	--以下議事内容--
事務局	（資料1 水環境改善対策実施計画について 説明）
委員長	・シミュレーションの結果をもって、植生浄化と底質改善を併用する方針として、令和7～8年で詳細の設計をし、その後導入していくとのことである。
副委員長	・シミュレーションのケースの違いと、資料2ページ目の水質浄化の手法はどのような関係があるのか。
事務局	・シミュレーションのケースは、植生浄化の設置個所や設置面積について差をつけている。一方、2ページ目の「7.水質浄化の手法（その2）」については、植生浄化の実施方法の違いを表現している。 ・マコモ、ヨシとともに繊維系カゴ、鋼矢板、浮島、擬木のすべての方法に対応可能である。このなかでどの方法をとっていくかはこれから検討する。
副委員長	・繊維系カゴ、鋼矢板、浮島、擬木のそれぞれの方法で浄化能力に違いはあるか。 ・浮島や擬木など、採用する植生浄化手法によっては、出来上がりの植栽の、水面との高さ関係や景観が変わるように見える。
事務局	・（植生浄化は、植物が成長する過程で水中の成分を固定するものなので、）固定する基盤の違いによる浄化作用への影響は無いと思われる。 ・（擬木部分が水面より上に見えている事例を載せたことで）資料の写真は想定しているものと違うものになってしまっているが、洗足池で導入する場合は、擬木部分は水中に隠れる想定である。景観については、そこまで大きな影響はないと考えている。
副委員長	・景観に合うことや見た目も評価項目に入れて進めていただきたい。
事務局	・承知した。
副委員長	・24時間運転する想定か。 ・水面の状態が気になる。
事務局	・運転の時間帯はこれから検討していくが、操作して調整できると思われる。
副委員長	・水面の泡や波で景観を阻害することの無いよう、配慮して進めていただきたい。
委員長	・名勝の雰囲気や、ボート利用との兼合い等、多角的に検討するように。 ・植生を使うということはよくわかった。事務局の言うように、2年間で計画を具体化するということである。
東京都	・植生浄化の浮島の場合の植栽面積は、池の何パーセント程度になるのか、また景観に

	<p>対して大きく影響しないものか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・底質改善は比較的新しい技術だと思われるが、安定的に運用している事例はあるのか。 ・底質改善の装置自体の騒音の懸念は無さそうだが、水面を叩くような音がするという情報もある。景観や騒音については対策されるのか。 ・効果が始始めても、ずっと運用し続ける必要があるものなのか。計画のスペンはあるものなのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在想定する植生浄化の設置面積は、ヨシは2,000㎡+1,000㎡程度で、池外周の杭の外側に設置する。マコモを含めても、池の多くを覆うようなものではない。 ・底質改善の実例としては、皇居の日比谷堀での実証実験がある。日比谷堀は偶然、洗足池と規模が近いので、有用な参考事例だと考えている。そのほかに、京都の平等院、鎌倉の円覚寺、大阪の長居公園では現在も継続して実施していると聞いている。 ・底質改善は水質を直接改善するものではなく、あくまでヘドロを解消するものなので、明確な見通しは難しいが、10年や20年は実施する必要があると思われる。池底に沈水植物が根付くようになると、必要はなくなるかと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・匂いや音などの五感への影響が無いように、あるいは影響を可能な限り抑えるように注意しながら、引き続き考えていってほしい。 ・水が黒くなることへの対応もお願いしたい。
事務局	(資料2 擁壁工事について 説明)
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・前は石積みの色合いなどにご意見が出ていた。今回は「議題」ではなく「報告」という主旨になるようだが、ご意見があるようなら出していただきたい。 ・事務局としてはこの案で行きたいとのことだが、どうか。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・写真では、擁壁前面の最上段部分の石が未施工の状態だが、この部分を美しく施工するのが難しいところだからしっかりやってほしい。
事務局	・承知した。
事務局	(資料3 文化財活用事業について 説明)
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・「耕地整理の碑」という碑がある。あまり取り上げられていないため、取り上げてほしい。
委員	・千束八幡神社の境内にあるかと思う。
事務局	・調査のうえ、活用を検討する。
東京都	・現在はあまり注目をされるものではないと思われるが、ぜひ調査していただきたい。
事務局	(資料4 景観構成重要木の伐採報告 説明)
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・角地の樹木は景観上重要であることに加え、根によって崩落防止の役割も担っているため、しっかり検討すること。